

謹賀新年



市長 大宮 常陸 三郎 次 真 一郎

新年明けましておめでとうございませう。

市民の皆様には、平成21年の輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げますとともに、平素より市政に對しまして温かいご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年11月、国内最大の文化・芸術の祭典「第23回国民文化祭・いばらき2008」において、当市でも「全国吟詠剣詩舞道祭」、

「西塩子の回り舞台公演」を開催いたしました。県内外から多くの来場者をお迎えし、本市を県内外に広くアピールし、成功裏に終えることができました。市民の皆様を始め多くの方々のご協力、ご参加に對しまして心より御礼申し上げます。

さて、現在、本格的な人口減少・超高齢社会の到来、核家族化の進行、社会構造の複雑化、グローバル化の進展などにより、市民の暮らしに直接結びつく地方自治体は非常に厳しい状況におかれております。

本市を取り巻く環境も大きく変化し、生活環境から福祉、教育、さらには行財政の改革や周辺地域の少子化、過疎対策、農林業の振興、大宮地域の市街地の再開発や周辺地域の商工業の支援など、様々の課題に直面しており、また依然として厳しい財政状況の中で、苦しい行財政運営を強いられております。

このような中、私たちのふりさと「常陸大宮市」を将来にわたり明るく住みよいまちとして、

さらに茨城県北西部の中核都市として発展させていくためには、行政はもとより市民の皆様がともに知恵を出し合い、市民の方々と行政が手を取り合っただけでなく、まちづくりを進めていくことが必要であります。

これからも皆様の声に耳を傾けながら、福祉施策をはじめ、林業振興対策等の農林業施策、宮の郷工業団地への積極的な企業誘致等の商工業施策、さらには、都市基盤の整備、教育環境の整備などを積極的に推進し、地域の活性化を図り、人口の定着や都市住民との交流拡大につながる事業を実施し、本市の誇りでもある豊かな自然を守り活かしながら、「豊かな自然と調和した安心・快適な活力のまち」をつくるため、全力で市政の運営にあたってまいり所存でありますので、今後ともなお一層のご理解と、ご協力をお願い申し上げます。

皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈りいたしました。新春のご挨拶といたします。

干支は

こうして決められた

昔々、ある暮れのこと。神様が動物たちに言いました。

「元日の朝、私のところへ出掛けてきなさい。最初に到着したものをから12番目のものまでを、1年交代でその年の動物の大将にしてあげよう」

動物たちは、我こそが一番とはりきって元日がくるのを待ちました。ところが、ネコは話を聞き漏らしてしまい、ネズミにたずねます。するとネズミはわざと1日遅れの日付を教え、ネコはそれを真に受けて帰っていきませんでした。

元日となり、ウシは「自分は歩くのが遅いから」と誰よりも早く夜明け前に出発しました。すると、牛小屋の天井にいたネズミが、こっそりウシの背中に飛び乗りました。

ウシが神様の家に着くとまだ誰も来ておらず門も閉まったまま。自分が一番とウシは喜び、門が開くのを待っていました。

やがて朝がきて門が開いたとたん、ウシの背中からネズミが飛び降り、ネズミが一番となつ

二〇〇九年 丑



常陸大宮市議会議長
村 勝 昭

新年明けましておめでとうございませう。皆様におかれましては、輝かしい希望に満ちた新春を健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。昨年を振り返ってみますと、国内外ともにめまぐるしく変化にとんだ、多様な一年であったと思ひます。米国のサブプライムローン住宅問題に端を発し、大手証券リーマンブラザーズ破綻等で百

年に一度の経済危機に見舞われ、世界同時不況の波に飲み込まれました。さらに、株安連鎖は、個人消費をさらに冷え込ませ金融機関の貸し渋りを招き、企業の体力を奪う恐れが強くなり、日本経済は株価がバブル崩壊後の最安値を下回り、26年前の水準にまで値を下げるなど先行き見通しのつかない状況が続いています。

また、岩手・宮城内陸地震災害や、地球温暖化の影響なのか雷を伴う激しい夕立が増え、まるで熱帯のスクールのようなゲリラ豪雨が22件も発生し、大きな被害を出しました。幸いにして本県は台風が一度も上陸せず、自然災害の少ない年であったように思われます。

国内最大の文化・芸術の祭典「第23回国民文化祭・いばらき2008」が茨城大会として開催され、「西塩子の回り舞台」という江戸時代後期の道具も残る日本最古といわれる組立て式農村歌舞伎舞台と公演、そして市文化センター・ロゼホールでは、

全国吟詠詩舞道祭が盛大に開催され、当行事に携わった地域、また関係各位のご苦勞に感謝申し上げます。と思います。

本市行政においては、昨年4月に三次市長誕生とともに新体制が組まれて流れが進む中、8月に議会構成人事が行われ新たな体制でスタートいたしました。市民の皆様が目線に立ち、地方議会の果すべき役割と重要性を認識し、多様化するニーズを的確にとらえ、スピーディーに取り組むことが議員の責務であると決意を新たにしております。そのような思いを具現化すべく、9月には新たに行財政改革推進調査特別委員会を設置いたしました。

今後とも、皆様のなお一層のご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈りいたします。新春のご挨拶といたします。

てしまいました。残念ながらウシは2番となり、それからトラ、ウサギ、タツ、ヘビ、ウマ、ヒツジ、サル、トリ、イヌ、イノシシの順で到着しました。1日遅れで出掛けたネコは番外となり、それが原因でネコはネブミを恨んで追いまわすようになったそうです。

自身の歩く速さが遅いからと、元日の朝に神様のもとに着るために自分だけ早目に出発したという姿には感心させられます。

また、ウシの肉は大切な食料に、力は労働にと社会に密接に関わる干支です。私たちも歩みは遅くても粘り強く誠実に着実に前進し、よい年にしたいものです。

